

(仮称)男女共同参画センターの運営案について

1(仮称)男女共同参画センターの整備概要について

【施設の概要】

令和2年12月に竣工予定の(仮称)市民総合交流センター5階に(仮称)男女共同参画センターとして、次の施設を設置する。

執務室 62.1㎡、相談室 12.3㎡、合計 74.4㎡

【施設の方針】

男女平等の意識の高揚を図り、男女があらゆる分野に参画できるよう、広く市民に意識啓発を図るため、学習活動、相談、情報提供の機会と場を提供し、市民との協働により施策を推進する拠点として新たに設置する。

【業務の内容(機能)】

- ① 研修等の企画運営
- ② 相談
- ③ 情報提供
- ④ 各種団体、機関との連絡調整(団体育成・支援・交流、ネットワークづくり・市民参画)

2(仮称)男女共同参画センターの運営案について

○運営方法について

市直営で運営

(仮称)市民総合交流センター基本計画策定時(平成27年2月)より市直営で運営することを想定しており、先進地視察からも職員体制の維持や事業継続、充実のために市直営が望ましいとの結果が得られた。

センター設置後の安定的な運営ができるよう、市直営とし男女共同参画課を(仮称)男女共同参画センターに移して運営する。

先進地視察、ワークショップ、アンケート、市民会議*の意見から

- ・先進地視察では、指定管理・事業委託のセンターは、人員配置、事業予算が縮小されており市直営の方が充実していた。また、指定管理・事業委託のセンターは、リーダーとなる職員が退職した後の事業継続が難しいといった課題があった。

※市民会議とは、市民団体「くさつ男女共同参画市民会議い〜ぶん」を指します。

○開所日

月曜日～土曜日（土曜日は隔週）

土曜日の開所については1年目は隔週とし、1～2年利用状況をもて判断する

就労している市民の利用を考え、月曜日～土曜日（土曜は隔週）の開所とする。なお、市民会議から意見があったように、1～2年利用状況をもて、その後の開所日について判断していく。

先進地視察、ワークショップ、アンケート、市民会議*の意見から

- ・先進地視察において土日祝日の利用を聞いたが、利用は少ないということであった。
- ・アンケートでは、土曜日、日曜日の利用を希望する人も多いという結果であった。
- ・ワークショップでは、「土日、夜などいつでも相談してほしい」といった意見があった。
- ・市民会議では、曜日の開所については、当面隔週としてオープンし、利用状況をもて毎週にするなどの判断をすればよいのではないかと。事務効率や職員のワーク・ライフ・バランスも考える必要もあるとの意見があった。

【参考：(仮称)男女共同参画センターの開設に関するアンケート調査結果（H29）】

利用を希望する曜日（開設日）（複数回答可）

平日	66.7%
土曜日	45.5%
日曜日	35.8%
祝日	17.1%

○開所時間

8時30分～17時15分

市民会議等から、市民の利用しやすい時間帯（9時00分から18時00分まで）とした方がよいという意見があったが、(仮称)市民総合交流センター内の他の施設の開所時間に合わせ、8時30分から17時15分までとする。

先進地視察、ワークショップ、アンケート、市民会議*の意見から

- ・先進地視察において夜間の利用を聞いたが、利用は少ないということであった。
- ・アンケートでは夜間の開所（21時まで等）を望む市民は15.4%と比較的少なかった。
- ・ワークショップでは、「土日、夜などいつでも相談してほしい」といった意見があった。
- ・市民会議では、本庁の開所時間は8時30分から17時15分であるが、市民が利用しやすい時間帯（9時00分から18時00分）とした方がよいのではないかとという意見があった。

【参考：(仮称) 男女共同参画センターの開設に関するアンケート調査結果（H29）】

利用を希望する時間帯（複数回答可）

7：00～9：00	1.6%
9：00～12：00	70.7%
12：00～17：00	53.7%
17：00～21：00	15.4%

○施設名

男女共同参画センター（愛称〇〇〇〇）

草津市では、「草津市男女共同参画推進条例」、「草津市男女共同参画推進計画」と条例、計画の名称に「男女共同参画」という言葉を使用しており、「男女共同参画センター」とする。愛称については、単独施設ではないが人権センターにも愛称があること、ワークショップ・市民会議で愛称が必要との意見があったこと、市民になじみやすい愛称をつけることで利用が図れると考えることから愛称を募集する。

先進地視察、ワークショップ、アンケート、市民会議*の意見から

- ・ワークショップでは、「男女共同参画」という名前が固くネーミングが悪いという意見が多かった。
- ・市民会議では、ワークショップの結果も踏まえ市民が利用しやすいよう愛称を募集した方が良いとの意見であった。

審議会の意見から

- ・若者も含め、多くの人に利用いただくため、愛称はあった方が良いという意見であった。